NIE実践報告

1．タイトル：**春の社会見学（ちゅーピー・ホロコーストツアー）に向けて**

2．学校名

広島県尾道市立生口中学校

3．実践者名（代表者名）

陶山光恵

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　16人

6．単元（本時の学習課題）名

春の社会見学（ちゅーピー・ホロコーストツアー）

7．目標(狙い)

・新聞記事をもとにホロコースト記念館を訪れ、自らの生き方を問い直す。
・新聞制作現場の見学を通し、一層新聞に親しむ姿勢を培う。

8．評価の視点

・直に見聞したことをもとに、自らの生き方を考えることができたか。
・新聞に対する思いを新たにし、親しみをもつことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞ぢゃあ！」「新聞切り抜きコンクール」［国語：4時間］
「春の社会見学（ちゅーピー・ホロコーストツアー）に向けて」［総合的な学習の時間：5時間］　計9時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①興味・関心のある記事を切り抜き、思いを交流しあう。（4時間）
②「ホロコースト記念館リニューアルオープン」の記事に着目。ホロコーストについて事前学習をし、社会見学の課題を明確にする。（4時間）
③目的意識を持って社会見学に行き、直に見聞したことをもとに、感じたこと・自らの生き方について考えたことをまとめ、新聞に投稿する。（1時間）

（留意点）
学んだことを行動に移し、「何かをする人になる」（ホロコースト記念館　大塚信館長の言葉より）という視点を今後につなげる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・ホロコーストへの憤り、同年代のアンネフランクへの共感から改めて命の尊さ・平和の大切さを深く胸に刻んだ。
・新聞制作現場に驚嘆し、新聞への思いを新たにした。

12．成果と課題

・新聞により視野を広げることができた。
・学んだことを発信する力，行動化につなげる力を培うNIE実践を模索し続けていく。